



合川精神

議長 松橋由於



ふるさとの山

新企の技術は

畠山義郎

A black and white portrait of Isamu Yamashita, a man with dark hair and a mustache, wearing a suit and tie.

本町の有権者  
六、九一五人

選挙管理委員会ではこの  
ど委員会を開き、九月十  
日現在において調製したば  
本選挙人名簿を検討の結

んで撰り好みをしない、それが出来るのではない  
れ故に能く水が聚りて大海  
が出来るというのである。然るに、時には地域的利害  
合川の川の意義を説明するにとらわれ過ぎて事の進行  
と海、川、水と夫々の呼びを阻むキライがないでな  
方は異つても結局は同じ和かつたことは洵に合川の名  
合を表現したもので、合もに恥ずべき事と深く反省せ  
川も平和と同意義に解するざるを得ない。

十一月町議会から…

農委統合などは繼續審議

十二月定例町議会は十二月二十六日西小学校においては議員四十八名が出席して開かれた。度

川六七号、県営崩壊地復旧地  
に防止禿山復旧事業施行  
の申請について

(この問題について  
後関係者が再三  
協議している)

（文責、広報係杉澤書記  
落間の調整を町当局、経済委員会が行う二点となり難

八財産については近日中に実地調査を行う」と夫々答弁程、当局から「失業保険注一し、議事に入り議案第六七の改正によつて市町村職員の一号より順に上程、六七号に六ついては農地の灌漑用水を確保するため早期に工事例の一部を改正するのである。九を施行すべしとする三木田り、実質的には予算等に影響はない」と提案理由を説明してからにせよと主張する三里部落の地元両者を可決し、全日程を終了し、両部が対立してもめたが午後二時半散会した。

第8号  
毎月1回発行  
発行所役場  
発川編集人  
町役場總務課広報係  
発行部数 2,300

今年の成人式終る  
256名  
十五日の成人の  
日に満二十才に成  
達した人々の前で、  
途を祝福する成  
人式は去る十五  
日午前十時から、  
西小学校において

この町内外の来賓多数をはじめこの日成年に達した成人		次のとおりである。	
一六〇名を迎えて町長より		(教育委員会調査)	
成人証書、成年手帳を受け		東地区	西地区
来賓祝辞などで輝かしい前		男	女
述を祝福され、終つてから		三	二
「演劇土曜の会」の演劇を	北地区	元	八
観賞し、盛会裡に式を終つ	南地区	四	三
た。なお、地区別成人数は	合計	三五	三三
		三三	三三
		三五	三三

会を軽視すべきでない等の強硬な発言があり、当局も必要に応じて諮詢すると答えた原案を可とした。

第七〇号については町長より「合併による特例として旧各村ごとに地区農委を設置したが、台帳閲覧、町農業計画の樹立その他に色々と更なる、まさに最近の

# 賀 春 1956

委員長	斎藤憲一郎
副委員長	昌山定五
委員員	田七五
職員	藤鐵
教育長事務取扱	橋欣
工藤昌	福岡理喜郎
加藤アキ子	鈴木運叶
外学校要務員	子久邦郎
工藤福岡	加藤アキ子

△	北	東	南	△	税	△	經
斎藤 奈良 子ヨ	所長事務取扱 所長 出張所	米倉 阿部 長時	松橋 長房	金支 式所	成田 穴倉 佐藤 桜田	課長補佐 課長 課長	課長 課長 課長
佐藤 良保 之助	所長事務取扱 所長 出張所	長時 重時	松橋 長房	式所	清二郎 養助 秀助	菊助 芳之助 二郎	宇之助 榮悦 一郎
安部辰之助	井佐藤 佐藤ノリ	岡相馬 六美代治	岡島庭田 弘源作二郎	地源 勝吉	山田卯 勝一郎	杉淵昭 光一郎	木村仁兵衛 直郎
		斎藤政美	愛子 藏里				

△ 民  
金成松成課課  
田田岡田長補生  
スキ祐米佐長課  
エク吉四藤木

島村  
津松桜  
谷橋井 啓修  
セ新栄  
ツ一治三司

# 今年は何をやるか?

町政  
展望

新しい年を迎える町当局は何をやっているか?……また三十一年度には何をやろうとしているだろうか?……これは町民のひとしく知りたいところだと思う。そこで新年にあたり町各課(診療所)を廻りいろいろと聞いてみることにしよう。

## 財政の確立が先決 総務課

課長補佐の木村主事に聞い

てみよう。

問

ぼう大な赤字を予想さ

れる今年度決算に対す

る

答

赤字、それもぼう大な

額に上ると考へているが

それを三十一年度予算で

どう修正していくか?

番大きな問題だ。

議会の議決の範囲と町長

の職権の範囲を具体的に

事務処理するこの課とし

てはよりも立町以来の

財政の確立が先決となつ

て来よう。

県の財務監査で指摘され

た諸点を中心に、府内各

課及び各行政機関とも協

力し、行財政の簡潔なる

整理を考えている。苦しい

村同志の合併であ

るので豊かだと思うこと

なんか一つもない。

行政費の節減で赤字を克

服しながら新町建設の歩

を進めなければならぬ現

況だ。

問

差し当りどんなことを

考へているか?

問

地方振興という点につ

いては……

答

電話施設の拡大、電話

交換局、郵便集配局の統

合が新しい年の課題だが

町長の決断を期待したい

ところだ。

問

木村課長との対談。

問

消防団の再編成には大

きな労されたようだが

民生課

簡易水道を計画

木村課長との対談。

問

消防団の再編成には大

きな労されたようだが

木村課長との



